

釧路市立北中学校 グランドデザイン2026

－「未来を創る学びのデザイン」－

「自己」と「共生」を土台に、問い・対話・挑戦の学びを通して、自ら動き、対話で未来をつくる生徒を育てる学校

釧路の教育

釧路の風土で生まれ 未来を拓く 心豊かな人づくり
ふるさとを愛し 社会に貢献しながら 主体的に学び続ける人を育てます

学校教育目標

- 真理を求め 創造をめざす生徒
- 勤労を愛し 責任を果たす生徒
- 健康を尊び 心をひろげる生徒
- 自己に厳しく 社会に尽くす生徒

北中学校区における9年間を通して目指す子どもの姿

粘り強く挑戦することを大切にする子ども

主体性 責任感 探究心

コミュニケーションを大切にする子ども

思いやり 協働性 多様性

令和8年度 「目指す生徒の姿（重点教育目標）」 <生徒像> 自ら動き、対話で未来をつくる生徒

当事者意識をもち、自分で考え動き、多様な人たちと対話して合意形成できる生徒

9年間で育てる姿

粘り強く挑戦し、対話を大切にする子ども（主体性・責任感・探究心 × 思いやり・協働性・多様性）

令和8年度 教育理念「学校づくりの核」

【「自己（自律）」＋「共生（尊重）」】×「探究」×「挑戦・創造」

～「自分から学び、共に創り、未来に挑む学習者の育成」～

■自己（自律）（責任ある行動をとる力）

- ・自己決定 自分で選び判断する
- ・自己調整 失敗から立て直す
- ・自己表現 自分の考えを伝える
- ・自己有用感 自分は誰かの役に立っているという実感
- ・自己実現 夢や目標に向かって進み続ける

■共生（尊重） 多様な他者と対話し、違いを認め合いながら協働し、合意形成する力

■探究 問いを立て、根拠をもとに考え、他者と深め、社会につなげる力

■挑戦・創造 失敗を価値に変えながら挑戦し、新しい価値を創り出す力



この生徒像を実現するために、北中では次の資質・能力を育てます

自己（自律）・共生（尊重）・探究・挑戦・創造

北中の学びのサイクル

この学びをすべての授業・学校行事、生徒会活動等で大切にします

問 い ⇄ 探 究 ⇄ 対 話（共生・尊重） ⇄ 行 動（挑戦・創造） ⇄ 振 り 返 り（自己・自律）

重点とする教育の柱

① 自己（自律）

- 自己調整学習の推進（ルーブリック活用） ○「自学自習」の習慣化
- ICTによる個別最適な学び

② 共生（尊重）

- 対話的な学びの充実 ○いじめを許さない組織的生徒指導
- 人権教育・多様性理解

③ 探究

- 探究型授業の実施 ○教科横断的カリキュラム ○キャリア教育との接続

④ 挑戦・創造

- 行事・生徒会の主体化 ○地域連携・社会参画 ○失敗を活かす振り返り文化

数値目標（評価指標）

【自己（自律）】

自己調整学習ルーブリック B 以上 80%以上

【共生（尊重）】

対話を通して合意形成できた生徒 85%以上

【探究】

自ら課題を設定できた生徒 80%以上

【挑戦・創造】

失敗から学び次に活かした生徒 80%以上

目指す学校像

- 「学びがつながる学校」～9年間・教科・探究・地域が接続
- 「信頼がつながる学校」～家庭・地域・関係機関との協働
- 「失敗を価値に変える学校」～挑戦を称え、学びに転換する文化

学校経営基盤

- “チーム学校”の推進
- ICT・AI活用による働き方改革
- 安全で安心できる学校環境

学校文化 <行動原則> 北中では次の言葉を「合い言葉」とします

～「失敗は、次の成功の設計図」～

生徒も教職員も「自分から進んでやろう！」 ・ 「トライアル&エラーで常に前進！」